

編集後記 かぼちゃを馬車に変えたもの



アヴニール労務事務所 所長柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com

「得意なもの、自信があるものって何ですか？」

とある人から聞かれました。(@_@)

んー。考えを巡らせましたが、基本へたしな僕です。苦手なものばかり頭をよぎります。

高い所では足がすくんでしまい、血を見ると気が遠くなってしまいます。(+_+)

手先は人一倍に不器用だし、運動神経だってお世辞にもいいとはいえません。

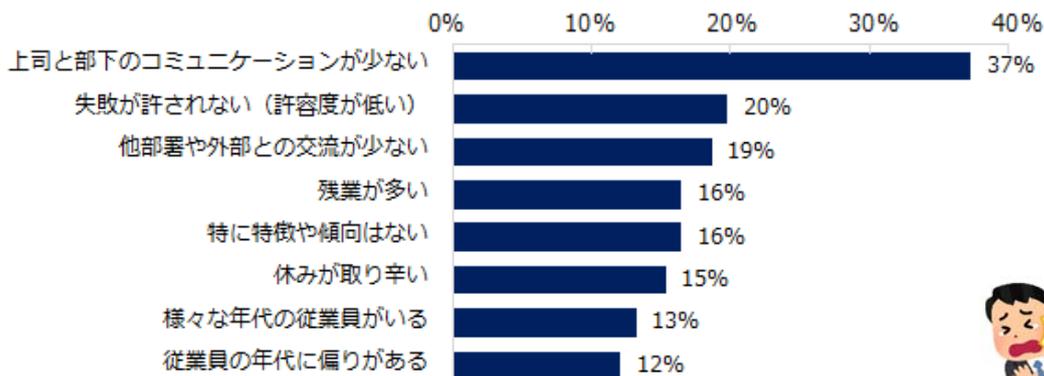
以前少年野球のコーチをしていた時なんか、たまに僕がノックなんかしようとする、子どもたちに緊張が走っていました。「へい。レフト行くぞー！」なんて言いながら、僕がノックした打球はサードやショート、センターどこに飛んでいくかわからないからです。

これではどっちが練習してるんだか・・・もう、あっはっはーです。(^_^)



転職、人材採用のエン・ジャパン株式会社は、企業の人事担当者を対象に「パワーハラスメント(パワハラ)」についてアンケート調査を行い、さる1月27日にその結果をホームページで報告しました。それによると、最も多いパワハラは「精神的な攻撃」。パワハラの原因は「上司と部下のコミュニケーションの小ささ」。職場のコミュニケーションとパワハラが起きる原因は関係していることが分かります。

パワハラを把握している企業に伺います。パワハラが起きる部署に特徴や傾向はありましたか? ※複数回答可



出所)エン・ジャパン株式会社 <http://corp.en-japan.com/newsrelease/2017/3449.html> より抜粋

職場のコミュニケーションといえば、まずは日頃の挨拶、そして報連相が基本です。

よい人間関係はよい報連相の上に成り立ち、よい報連相はよい人間関係の上に成り立ちます。

皆さまの職場でも、報連相の在り方を考える機会を作ってくださいね。

先日のフィギュアスケートの四大陸選手権。女子金メダルは、「シンデレラ」を舞った17歳の三原舞依さんでした。2015年12月に完治が難しいといわれる「若天性突発性関節炎」を発症し、一時期は歩くこともままならない状況で車いす生活も経験したといえます。

そんな、つらく苦しい時期を過ごした17歳の少女のコメントは謙虚で、そして立派でした。

「周りの方たちの支えと、もう一度氷上に戻れたうれしさが、ここまで来られた原動力になっています。たくさんの支えのおかげで、私の努力だけではこの場所に来られなかったと思うので感謝しています。」

自分の都合のいい時にいきなり登場して夢をかなえてくれる魔法使いなんて童話の世界のこと。

でもこの逆境のシンデレラには、かぼちゃを馬車にしてくれるコーチや仲間たちとの人間関係がありました。

ちなみにシンデレラをお城に運ぶことになった「かぼちゃ」の花の花言葉は、「包容」だそうです。



思えば何のとりえもない僕が少年野球のコーチを続けられたのは、チームの代表や監督、他のコーチや選手の父兄、そして選手たちに支えられたからでした。昨年の年末から1月にかけて、少年野球のコーチ仲間との飲み会がありました。それに高校の同窓会、大学の同窓会、サラリーマン時代の仲間

との旅行等々、仕事とは関係のない私的な集まりの機会が多く、何とも嬉しい時を過ごしました。

「みんながいたから僕がいる。」これだけは自信を持って言えるかな。(^^)



アヴニール労務事務所
未来は変えられる! **avenir**